

【上板町】
校務 DX 計画

1. クラウド環境を活用した校務 DX

ゼロトラスト環境下で教員が使用する校務系端末と学習系端末の一台化を実現し、さらなる利便性向上を目指す。

2. AI ドリルの利用促進

令和7年4月からAIドリルを本格的に採用する。ペーパードリルは必要最低限とすることで、宿題の提出や採点の負担を軽くする取組を推進する。個別最適な学びの充実にもつながるため、積極的活用を行う。

3. FAX・押印の原則廃止

令和5年12月に文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告によると、一部でまだ保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があり、クラウド環境を活用した校務 DX を大きく阻害していることが指摘されていることから、災害や教育ネットワークの不具合時など FAX の方が電子メール等より効率的な場合を除き、FAX・押印の原則廃止に向けて、各種関係機関及び学校と関わりのある事業者に対して、教育委員会から慣行の見直しを依頼するなど、継続的に働きかけを行う。

4. 次世代校務支援システムの導入

県下統一の次世代校務支援システム導入に向け、検討及び校務環境の見直しを行う。

以上の取組を行うことで、校務の効率化を図り、教職員の業務負担軽減を目指す。